

学校便り

プラハ日本人学校

TEL : 233 340 000

FAX : 224 313 684

Email:gakko@jpschool.cz

No.895 2017/9/6

JAPONSKÁ ŠKOLA V PRAZE

VLTAVA

学校教育目標

「自ら学び共に学ぶ、豊かな心と国際性あふれる たくましい児童・生徒の育成」

目指す子ども像

かしこい子・やさしい子・たくましい子・世界で生きる子

こころとあたま

(朝会校長講話)

心ってどこにあるのでしょうか。たぶん胸のあたりにありそうな気がします。心は見えませんが、心が動くのはわかります。なぜって心が動くと、感情がわいてくるからです。遊んでいるときや自分の好きなことをやっているときは、心は大いに動きます。うれしい、楽しい、おもしろいって気持ちであふれます。

では、学校での勉強中はどうでしょうか。勉強中は体を動かすことは少ないので、心が動くことはあまりないと思いませんか。でも、心は動いています。わかってうれしい、できて楽しい、やっておもしろい。でも逆もあります。わからなくてくやしい、できなくて腹がたつ、やりたくなくて面倒くさい、等々。いろいろな気持ちが浮かびますが、自分にとって役立つのは、うれしい・楽しい・おもしろいというプラスの気持ちです。悔しい、面倒くさい、腹が立つという気持ちはあまり役に立たないマイナスの気持ちです。勉強で大切なのは、実はこういったマイナスの気持ちをプラスの気持ちに変えていくことです。例えば、できなくて悔しい、腹が立つ、面倒くさいと思ったときは、「できるまで頑張るぞ、あせるな、あせるな」って、マイナスの気持ちをプラスの気持ちへ変える努力も大切です。

また、自分の答えや意見が間違っていると恥ずかしいから、発表しない、黙っているという人がいます。また、逆に自分の答えや考えが正しいとうれしくて、ついつい自慢したくなってしまう人もいます。

でも、わからないから恥ずかしいというのは、自分ができないことをみんなに知られたくないと思うからです。これは、マイナスの感情・気持ちですね。この気持ちがあると、授業で素直に質問したり、友達にたずねたりできなくなってしまいます。また、自分ができて人に教えると自慢していると思われたくない、と思うマイナスの気持ちもじゃまですね。間違えてもかまわない、人と違ってかまわない、わからないときは聞けばいい、できた人は教えることでさらにできるようになるのだから、教えさせてあげるよ、という考え方が正しいのです。また、できた人・わかった人は、「威張ってなんかいないよ、教えさせてね」って謙虚な気持ちで教えてあげると、みんなが楽しくうれしく、おもしろく勉強ができるのではないのでしょうか。勉強は頭だけではない、心でもするのだというお話です。

【オープンスクールのお知らせ】

9月のオープンスクールでは、小学校6年生以上を対象に職業についての授業（キャリア教育）を行います。講師は、欧州住友商事会社プラハ支店長の森正浩さんです。森さんは、チェコ日本人会の会長も務めておられ、チェコの日本人社会はもちろん日本人学校もたいへんお世話になっている方です。仕事にまつわるお話や日本人会会長としての仕事についてお話をしてくださいませ。

概要は以下の通りです。

時間：6校時（14時20分～15時10分）

場所：多目的室

対象：小学校6年生以上の児童生徒

演題：未定

※保護者の方も参加可能です。



=転入のお知らせ=
小学部2年 ブレイスウェイトくん

=工事の経過報告=
校門が新しく頑丈な門になりました。
また、5年生以上の教室には施錠できるミニロッカーの設置が完了しました。

